

「白山市都市計画マスタープランパブリックコメント」 に対するご意見と市の考え方について

募集期間：令和元年12月13日（金）～
令和2年 1月14日（火）

結 果：3名の方から6件のご意見、ご要望

パブリックコメントに寄せられた白山市都市計画マスタープランへのご意見、ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

記

	ご意見、ご要望	市の考え方
1	あまり市街化ばかり進めず、農地を保全することを考えてほしい。	都市計画マスタープランでは、「自然と都市の共生 人の営みを支える元気都市」を将来都市像に掲げています。本計画は、秩序ある土地利用をしていくための計画であり、優良農地の保全についても方針に記載しています。
2	白山市の貴重な観光資源である山麓のスキー場ですが、今後ますます今年のように雪のない年が増えてくると思われるので、雪があっても、なくても集客できるような施設を計画していくべきではないでしょうか。	ご意見のとおり、スキー場の利活用については、市としても重要との認識から計画にも記載しております。冬期間のみならず、豊かな自然と魅力をいかしたスポーツ・レクリエーションの拠点として、維持・充実や利用促進を図るとともに、地域の交流やにぎわいの拠点としての利活用を図ってまいります。

3	<p>温暖化の影響による台風への対策です。手取川も1級河川ですから、白山市単独の事業とはいかないでしょうが、ひとたび災害となれば被害を受けるのは白山市です。当然ですが、最低予算で最大効果の治水事業をお願いします。</p>	<p>昭和9年の大洪水をきっかけに、手取川は国の直轄事業として整備を進めており、その後の豪雨においても大きな被害が発生することなく今日に至っております。しかし近年の集中豪雨の発生回数や降雨量の増加により、更なる安全度の向上が求められることから、市として国に対し、現在実施している流下能力確保のための河道掘削や堤防補強対策を引き続き要望しており、今後も国と協力して市民の生命・財産を守り安全確保に努めてまいります。</p>
4	<p>人口減少問題に関連して、アンケートでも上位にきていましたが、空き家・空き店舗の対策です。白山市内での需要と供給からいえば、なかなか対策は難しいと思われれます。まず、売却・もしくは賃貸可能な物件に関していえば、首都圏などの都市部への売り込み・情報提供や、あるいは、災害で家を失った地域への情報提供などしてはどうでしょうか？</p>	<p>空き家対策と併せ、若者の定住や賑わいの創出を図っていくことは今後の白山市にとって重要と考えており、定住促進策などを推進しております。空き家の情報提供については、市のホームページのほか、「全国版空き家・空き地バンク」のサイトに情報を掲載するなど、各方面において空き家等のマッチング促進に取り組んでいるところですが、本市の住みよさをPRしつつ、新たなチャンネルの情報提供手段についても検討します。</p> <p>また、空き店舗については、住居と一体となっているものも多いという課題はありますが、商店街や商工会議所、商工会と協力しながら、空き店舗の情報提供や商店街へ新規出店した場合の改修費や家賃の補助などを通じて解消に努めてまいります。</p>

5	<p>めぐーるについて、投資対効果の観点からいえば、廃止かなとも思いますが、高齢者の交通事故が増えていることを鑑みて、利用者を増やしていくことも大事なかなと思います。ただ、面積も広く均等に全般的にと利用しにくいダイヤになってしまいます。隔週とか、隔月とかで、ダイヤを変更して、集中して回るとか、現状の利用状況を考慮して、利用者の少ない路線は廃止するなどの方法も必要だと思います。</p>	<p>市民の移動手段の確保のため、公共交通の維持・存続は重要な課題です。今後とも、利用しやすい運行に向け、地域のニーズに応じたルート設定やダイヤ編成の検討を継続的に行ってまいります。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模開発にも調整池、浸透枡等の雨水排水設備の設置指導を十分に行うこと ・井の手川流域の比流量の改善を図る計画を盛り込むこと （２）－２河川・水路に整備河川として井の手川も入れること 	<p>都市防災の観点から、水害に強い地域づくりについての方針を計画に記載しています。</p> <p>流下能力が低下している河川・水路については、順次、改修を進めていく方針であり、調整池の適正な維持管理と開発時の指導を行い、水害に強い地域の形成に努めます。</p> <p>市内に多く存在する小規模な河川・水路について具体名は記載しておりませんが、対策が必要な河川・水路については、具体名の記載に関わらず、必要な改修や適正な維持管理に努めてまいります。</p>